

「発達障害早期総合支援システム」

(教員名) 三橋 美典  
(所 属) 教育地域科学部 発達科学講座

発達障害児を適格に判断し支援するシステム

親と教師の子育て支援

(1) シーズ概要

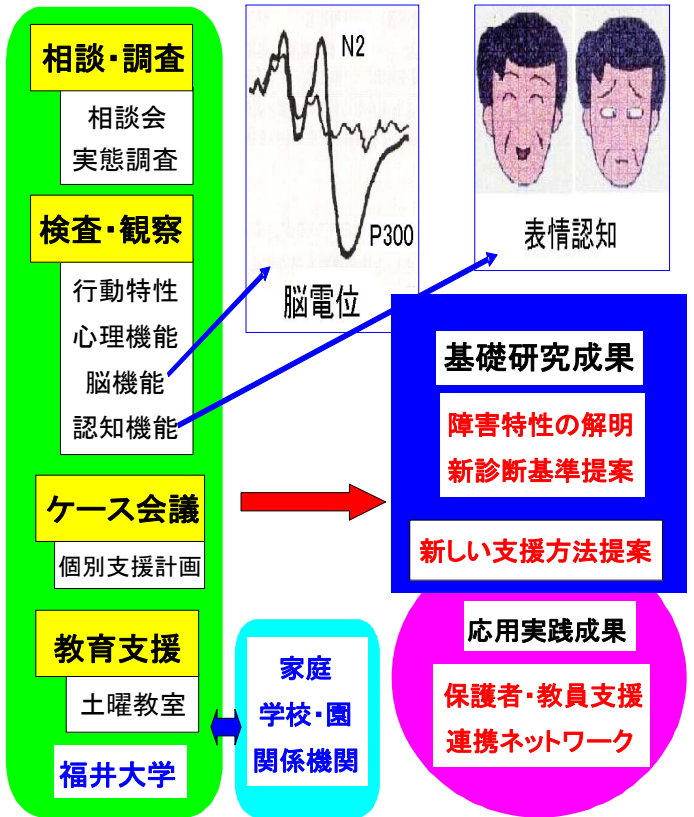
近年、気がかりな子どもの典型例として社会的にも関心が高まっている発達障害児について、認知心理学・脳科学の観点から特性や原因を検討し、多角的観点に基づく新たな判別・診断方法と支援方法を開発するとともに、教育・心理・医療・福祉が連携した総合的支援システムを構築する。

(2) これまでの研究成果

保護者や学校教員等からの相談を受け、LD、ADHD(注意欠陥多動性障害)、アスペルガー障害、高機能自閉症等の発達障害児を対象に、標準化された心理検査や行動チェックリストに加えて、言語認知、図形認知、表情認知等の新たな認知神経心理学的検査法を開発し、発達障害の原因に関連した基本特性を明らかにして来た。

また、学外の教育・医療機関や行政機関とも連携しながら、個別のケース会議を開催し、特性に基づく個別の支援計画を作成して、本研究室が主催する土曜教室や家庭・学校で実践するとともに、これらを統合した連携ネットワーク体制を作り上げて来た。

相談 ↓ 診断 / 研究 ↓ 支援 / 連携



(3) 新規性・優位性、適用分野

原因や実態が十分に解明されていない発達障害児について、認知心理学と脳科学に基づく新たな観点から、基本特性や原因解明等の基礎研究を行うとともに、教育・心理・医学等の学際的観点にたった診断や教育・医療的支援を行う、応用的・実践的な活動を融合させた研究であること。

【適用分野】

子どもの「こころ」の発達に関する問題について、家庭や学校における子どもの見方や係わり方を提言・実践するという、広義の子育て支援。

特許出願: なし

関係論文: 高機能広汎性発達障害児の文章理解における作動記憶および概念の符号化能力の評価, LD研究, 16, 181-189 (2007)等

関係企業等: 福井県特別支援教育センター、平谷こども発達クリニック等